

## 2016年度政務調査研究活動実績報告書

県民の会

代表 中内 桂郎

2016年度の政務調査研究に関する主な活動の実施状況は以下のとおりである。

- 1 水族館における運営・情報発信等について
- 2 バリアフリースーツリズムのあり方について
- 3 鳥羽市における防災対策及び産業振興の取り組みについて
- 4 三重県における議会改革と少子化対策について
- 5 京都府和束町における茶産業の振興について
- 6 幡多郡における児童養護のあり方や児童虐待調査について
- 7 土佐清水市の漁業関係者を取り巻く現状と課題について
- 8 足摺岬竜串地区観光における今後のあり方について
- 9 大月町におけるマグロ養殖について
- 10 土佐清水ワールドを拠点とした土佐の食文化の情報発信のあり方について
- 11 ソフトボールを通じた地域スポーツ振興のあり方について
- 12 同和奨学金等私債権管理のあり方について
- 13 東京におけるファミリーホームの取り組みについて
- 14 商工会議所受託事業について
- 15 環境省インバウンド国立公園モデル事業について
- 16 環境リノベーション及び海洋開発について
- 17 地方自治体の現状及び課題について

- 1 8 素人街角ギャラリーについて
- 1 9 四国横断自動車道整備促進に対する要望について
- 2 0 国道321号線改良促進に対する要望について
- 2 1 韓国栄州市への表敬訪問及び国際ウォーキング大会誘致について
- 2 2 漁業振興について
- 2 3 長野県における間伐・薪ボイラー活用など木材産業振興などについて
- 2 4 環境省、経済産業省、厚労省など国への要望について
- 2 5 南海トラフ地震対策などについて

鳥羽では、格別取り立てて自慢するべきものがないように感じた。ただ従業員たちは一生懸命の姿が見受けられた。好感を持った。

伊勢志摩では、バリアフリーの話し合いなどを聞き、夜はバリアフリー化した施設のあるところで宿泊した。ちょっととまどう感じがした。

聞くところによると、その施設化は、伊勢市の行政側からの費用を借り受けたものだと云う。私には、バリアフリー化はなじんでいなかったもので、ちょっととまどった感がした。しかし、こうした施設が行政側からの配慮で出来るということに大きなメリットがあると考えられる。また、支配人の奥さんは高知県に知り合いの人もおり、高知県の出身者と云う。こうしたことも何かの縁というものかと嬉しく思う。

最終日には、京都市の和東町へ行った。町長の堀町長の挨拶を受けた。「ブランド力と歴史がある」ことを強調し総合力としては「地域力」があると説得力のある言葉だと思った

ここ和東町は、京都府南部、奈良県の北に位置している。周囲を山に囲まれた清流が流れるその麓の谷間に集落が点在する様は、まさに日本の古き良き里山の風景を伝える。

その中で和東の町と他の地域を繋いだものこそがお茶だと云う。

ここ和東町に息づく宇治茶生産八百年の歴史は、和東の茶農家の情熱と谷の地形があつてこそ、現在に至るまで町の生業であると云う。現在和東で生産される茶葉は京都府産の約半数を占め、その品質からも和東のお茶は全国有数の高級茶の一つに数えられている誇り高いお茶でもある。

現在の和東町は戦後昭和の大合併の折相楽郡西和東村・中和東村・東和東村が合併し和東町が誕生。自然の多いこの町には、景観資産の茶畑のみならず、歴史的に価値のある史跡も数多く残されている町である、その将来に大きな期待をする。

足摺岬では、漁の水揚げ等を見学した。その後関係者と私達で懇親会をもった。その中で地元だけでは漁に対する人手が不足をして困っている。ぜひ海外からの人手を大敷網にも手助けをしてもらいたいといった意見等を聞いた。まさにそのとおりだったと思った  
こうした会をもってもらうこと自体に大きな喜びを感じた。

一方、マグロ養殖場については、大月町の辺鄙なところで養殖をしている。ここは川と海の資源を生かし、環境も良いとのことである。あいにく雨模様の為、現場に出ることは出来なかったが、職員さん達の方々の誠意ある言葉や心遣いが良く分かった。

いずれにしても、今、やっとすべりだしたマグロ養殖の誕生を喜ぶたい気持ちで一杯である。かつて私が委員会の席で取り上げた「今後におけるマグロ養殖」についてたずねた時の県職員の反応は「高くて手がでない」という言葉であった。あれから16年くらいの時を得て、今日の成果があることを知らせて戴いた。苦節10年と云う言葉があるが、今やっと花が咲き始めた気がする。